

派遣先所属 宮城県土木部仙台土木事務所
氏 名 横山 裕一 (よこやま ゆういち)
派遣期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日

1 派遣業務の内容、現況

昨年まで宮城県庁河川課に勤務しており、主に総合評価業務や仙台土木事務所で管轄している震災関連工事に関する業務を担当しており、工事の重要な変更に係る業務等に携わっていましたが、今年度より仙台土木事務所です直接現場を担当することとなりました。

派遣先の仙台土木事務所では、主に東日本大震災により被災した特別名勝「松島」の浦戸諸島に位置する朴島の防潮堤復旧・復興事業に関する業務を行っています。これは震災により堤防が破壊され機能を為さないことからL1津波対象の「チリ地震」TP3.3mまで防護することを目的に復旧するものです。

当該事業については、現在、朴島南災害復旧その1工事を施工中であり、進捗率は約75%で平成31年3月の完成を目指しています。

その2工事については、11月議会の承認を得るべく契約行為が進行中であり、平成33年3月の完成を目指し施工を開始する予定です。



朴島の全景（空中写真） 手前に移っている集落のある箇所が現在災害復旧工事を行っている現場です。1工区は完成済みであり、現在2工区で作業しています。

3工区については12月に本契約となる所であり、3工区着工に伴い塩釜汽船の発着所を仮設棧橋に移動する予定です。

現場（朴島）に行くには、塩釜港からの市営汽船が唯一の交通手段であり、1日当たりの運行本数も少ないため、塩釜港朝9時30分発の船に乗り朴島着は10時20分となります。現場での作業を終え帰りは朴島2時発の船で塩釜港には3時着となり、島での滞在時間並びに事務所への帰庁時間も制限されます。

しかしながら、約50分の船旅は名称松島を余すところなく堪能でき、癒やされています。



2 被災地の復旧・復興の状況

私が担当している離島（朴島）等の復旧事業は平成32年度末の完成を予定しており、あと2年少しとなりましたが仙台土木事務所管内の復興事業はだいぶ完成しているようです。

他県からの派遣職員も年々少なくなってきており、来年度は更に減るのではと危惧しています。一方、別の沿岸事務所（石巻・気仙沼）に目を向けてみると、復興期間（平成32年度）での完成はとても見込めないというような声も聞こえてきており、宮城県全体での復興はまだ先のようにです。

（平成30年10月作成）